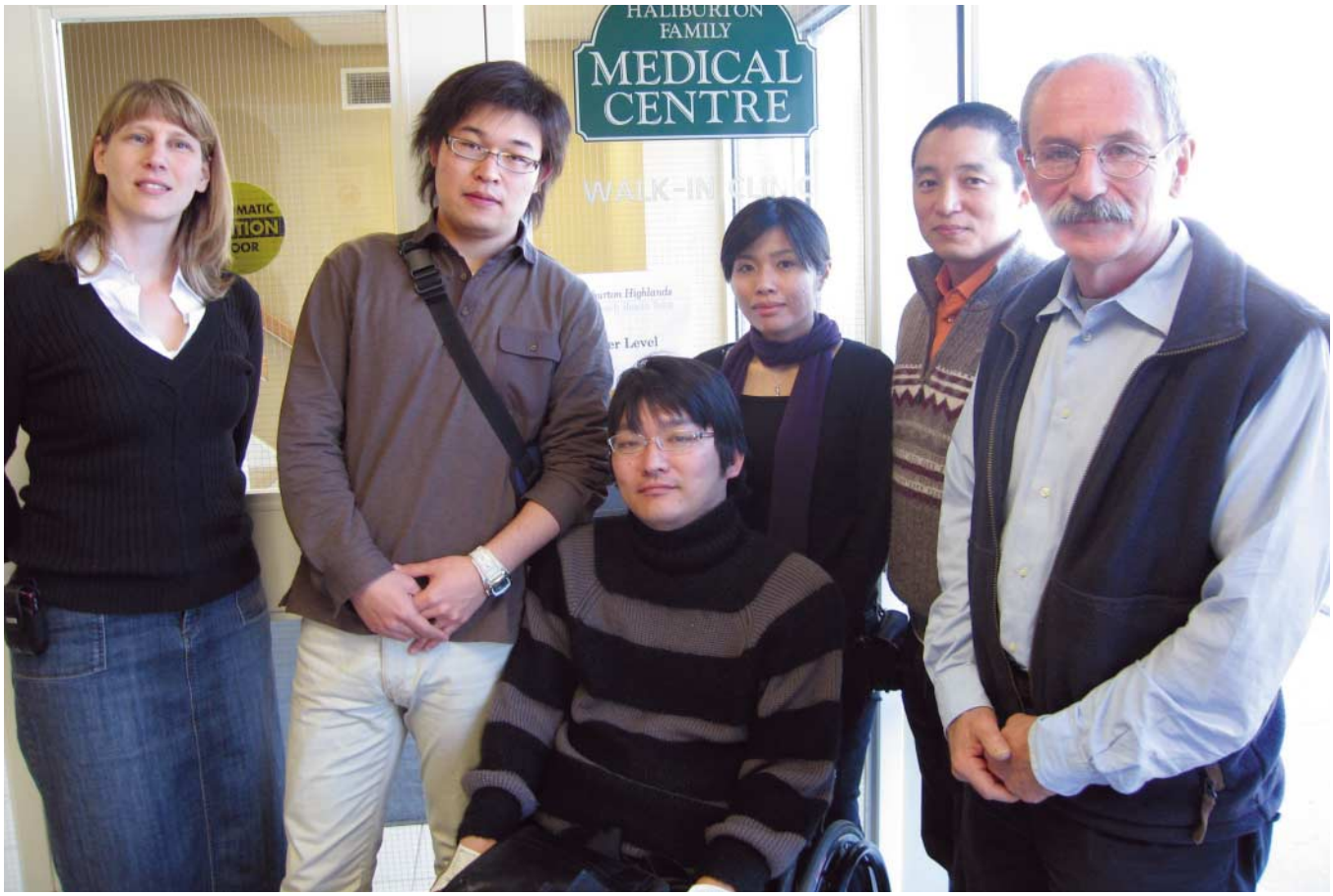
市立病院広報 第19号

竜んおとし子



－ 目　次 －

● 表紙（へき地病院再生支援機構カナダ研修）・・ 1
● 管理者挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
● 市民病院長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
● 生月病院長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
● 新人紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4～7
● 平戸市立病院改革プラン・・・・・・・・・・・・8～9
● 生月病院講座案内・・・・・・・・・・・・・・・・10
● 経口摂取のすすめ・・・・・・・・・・・・・・・・11
● 車椅子寄贈・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
● 外来診療担当表・・・・・・・・・・・・・・・・13～14

平成21年５月15日

発　行　平戸市民病院・生月病院
平戸市草積町1125番地12
平戸市生月町山田免2965番地

ＴＥＬ　0950-28-1113(平戸市民病院)
0950-53-2155(生月病院)

編　集　広報委員会

新たな病院体制が４月からスタート

病院事業管理者に池田柊一医師が就任

４月から経営形態の見直しを行い、地方公営企業法の全部適用による病院事業の経営を行っています。経営形態の変更で病院事業管理者として、池田柊一医師が就任しました。市長から病院の組織や予算案の作成、人事などの権限が病院事業管理者に移行され、経営の健全化に向けた取組みを行っていきます。

病院運営に精通した病院事業管理者が設置されたことにより病院経営の柔軟性、迅速性の向上が図られます。

市立病院の今後の展望

職員給与のカット(５％)や事務職員の削減、契約形態の見直しなどによる経費削減に努めます。また、地域から求められる病院を目指して、地域の皆さんに満足していただけるサービスを提供していきます。

平戸市民病院

①医療体制の充実

医師の確保に努め、医療の質の向上を目指します。

②看護体制の充実

一般病棟の看護師数を増やし、看護体制の向上を目指します。

③人工腎臓透析の充実

臨床工学技士を採用し、人工腎臓透析業務の向上を目指します。

生月病院

①医療体制の充実

安定した医療提供体制の確保を目指します

②リハビリテーションの充実

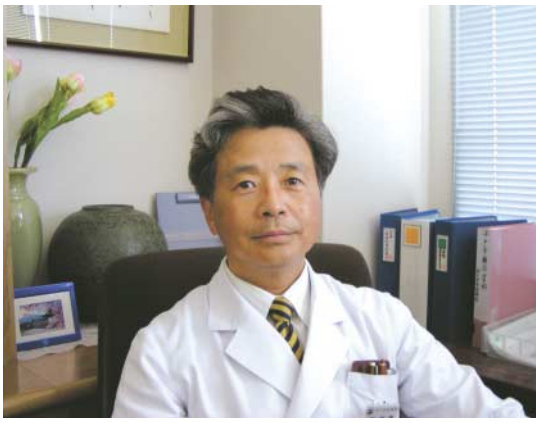
理学療法士を採用し、通院及び在宅リハの充実を目指します。

地域医療には、特殊な先進医療よりも、あらゆる世代に、保健、介護、福祉を包括して提供できるシステムが必要です。公立病院が核となって、各施設、医療機関と連携してそのシステムを作りたい。

過疎化、高齢化が進む中、現状を維持していくことは困難であり、10年後、20年後も成り立つような病院の形態を作っていきたい。

地域の人とのつながりを大切に乳幼児から高齢者までのあらゆる世代へ保健・医療・福祉・介護が連携し包括的なサービスを提供できる健全な病院経営を目指します。

病院事業管理者
池　田　柊　一



新たにスタートした 平戸市立病院体制

平戸市民病院　院長
押淵　徹

新たにスタートした平戸市立病院体制平成19年12月に総務省から示された「公立病院改革ガイドライン」に沿って、平戸市立病院（平戸市民病院、生月病院）は、地域医療の確保のための「改革プラン」を策定しました。それはこれまでお知らせしてきましたが、公的医療機関として地域に必要な医療を提供するため公営企業法の全部適用を受け、これまでの病院運営体制の責任所在を明確にし、急速に進歩発展する医療や目まぐるしく変わる国の医療政策に即応出来る病院運営の陣頭指揮者として事業管理者が設置されました。平戸市長より池田柊一先生が任命され、平戸市民病院・生月病院の運営・人事の指揮を取られます。

平戸市民病院は平戸市保健福祉総合施設『サンケア平戸』と連携の下、平戸市における地域包括医療・ケアの実践を通じて平戸市民の健康の増進・福祉の発展の拠点として今後とも運営されていきます。これまで、旧紐差病院そして平戸市民病院は「元気老人の創出」を願って20数年間健診事業を推進し、地域リハビリテーションの拠点として平戸市内外の医療機関福祉機関との歩みを進めてきた結果、平戸市の国民健康保険事業公的介護保険事業の安定に貢献してきました。

昨年から始まった特定健診・特定保健指導の趣旨を、わが平戸市は先取りしてきたと自信をもって言う事が出来ます。自分の健康は自分で作り守る、その平戸市民の願いをお手伝いいたします。

平戸市民病院と生月病院は

地域の人とのつながりを大切に　乳幼児から高齢者までのあらゆる世代へ　保健・医療。福祉・介護が連携し包括的なサービスを提供できる　健全な病院経営を目指します。

公営企業法の全部適用を受けての御挨拶

生月病院　病院長
山下　雅巳

この度４月１日をもって、病院事業は公営企業法の一部適用から全部適用（全適）となりました。

池田柊一事業管理者を先頭に、意思決定の迅速さが図られ、診療の質、経営の効率化にも、好影響を及ぼすものと考えています。しかし、医療や介護福祉、保健を取り巻く環境は、財源という観点から、やや緩和の兆しは見えるものの、抑制という厳しい大枠は、そう簡単には変わらないと見通しています。

僻地にあって、二つの公的病院が生き残る要件は、二つあると思っています。

一つ目は、医師を始めとしたスタッフの確保。二つ目は、経営健全化。後者に関しては、平戸市職員は、現在５％給与カットを行っていますが、公務員という身分を保証しながら、更に、給与体系に踏み込めるのか、難しい問題が待っています。この難問も、地域住民が安心して暮らすための手段であると考えれば、解決の糸口も見えて来るのではないでしょうか。

今、皆さん御存知のように、大栄丸事故による対応に追われながら、この文章を書いています。地域に必要とされる医療を、住民とともに造って行きたいものです。今後とも御協力の程、宜しくお願いいたします。

新人紹介

生月病院　事務長
塚本　眞実

３年ぶりの病院業務ということで、４月から生月病院の事務長として勤務しております。

生月病院は、生月町住民の皆様にとって、なくてはならない病院です。病院の理念でもあります「住民が安心して暮らせるまちづくりのため患者中心の良質で安全な医療を提供する」体制の充実・経営改善に向けて一生懸命努力させていただきたいと思います。何卒よろしくお願いします。

生月病院　総務班長
田中　克征

本庁保険福祉課から生月病院へ配属となりました田中と申します。

初めての病院勤務で毎日が緊張の連続ですが、生月病院が住民の皆様にとって身近な存在となることを目指していきたいと思います。愛する故郷、そして愛する人の未来のために共に頑張りましょう。

P.S.私事ではございますが、現在婚カツ中です。

生月病院　総看護師長
江口　美砂子

今年度から、生月病院総看護師長を勤めております。

現在、病院の経営状態が厳しい状況で、病院のあり方についても問われています。このような現状の中で、地域の皆様にとって、受診してよかった、病院があってほしい、あるので安心、と思っていただけるような病院作りを目指し、医療を提供していかなければならないと考えています。

全職員が一体となって努力していきたいと思っております。

生月病院　看護師長（病棟）
横山　厚子

４月から病棟師長の任命を受け、久しぶりの病棟勤務で右往左往しております。そのような中で、患者様の日々回復していく姿を拝見し、喜びとともに責務を感じております。

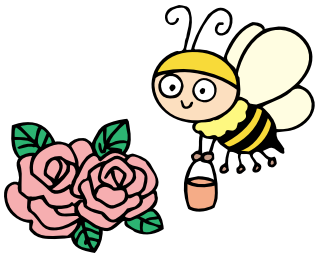
今後、住民の方々が信頼できる生月病院を目指して頑張りたいと思いますので、よろしくお願いします。

生月病院　看護師長（外来）
松本　千信

今年度から外来勤務となりました。

医療や福祉・保険を取りまく厳しい状況の中、皆様が安心して受診できますように、スタッフ共々努力していきたいと思います。

どうぞよろしくお願いします。

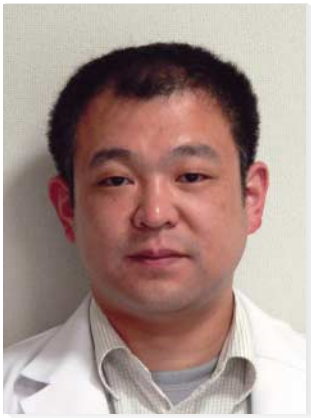


生月病院　看護師
神田　亜矢子

４月から異動により生月病院に勤務しています。生月で勤務できることを大変嬉しく思います。

一日でも早く地域の皆様のお役に立てるよう、笑顔を大切にし頑張っていきたいと思います。

よろしくお願いします。



平戸市民病院　外科医師

堤　竜二

得意分野は、肝臓、胆道（胆嚢や胆管）、膵臓の外科です。前に勤めていた島原病院では主に手術と内視鏡治療を行ってきましたが、これからは外科全般だけではなく総合医として勉強したいと思います。

市民の皆様の健康に少しでも力になれればと思っています。

平戸市民病院　看護師

椎木　ひろ美

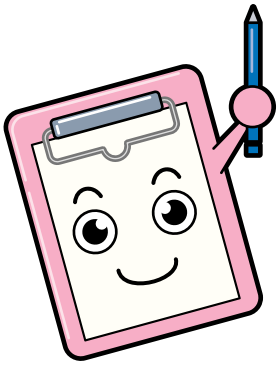
生月病院から勤務異動となり4月から市民病院で勤務することになりました。2年半ぶりにこちらに戻ってきましたが、初心にかえり頑張っていこうと思っています。

よろしくお願いします。

平戸市民病院　臨床工学技士

松本　尚子

4月1日からお世話になっております。地元の市民病院で働ける事を嬉しく思います。臨床工学技士として経験も知識もまだまだ未熟で、ご迷惑をおかけすると思いますが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。



平戸市民病院　看護師

鴨川　留美

昨年9月から平戸市民病院で勤務させていただいています。まだまだ慣れない事も多く、ひとつひとつ確認しながら頑張っています。今4月から正規職員として新にスタートしました。また気持ちを引きしめて頑張っていきたいと思います。

これからも、よろしくお願いします。

平戸市民病院　看護師
鴨川　記子

４月１日より平戸市民病院で勤務させていただいています。まだまだ未熟者ですが、皆様のご指導のもと少しずつ身につけ頑張っていきたいと思います。そして患者様に安心感をもっていただけるような看護ができるよう、笑顔を忘れず、日々努力していきたいと思います。
よろしくお願いします。

平戸市民病院　看護師
重富　純子

４月から療養病棟に勤務しています。福岡生まれ。結婚を機に平戸にやって来ました。今回、縁があって市民病院で働かせて頂くことになりました。看護師13年目。これまでの経験をこの病院で生かせていけたらと思っています。
どうぞよろしくお願いします。

平戸市民病院　看護師
廣田　建治

看護師免許を今年とったばかりの新人看護師です。
生まれ育ったこの平戸で多くの人と出会い、その中でたくさん成長していきたいと思います。経験、知識ともにまだまだですが頑張っていきたいと思います。
よろしくお願いします。

平戸市民病院　看護助手
種浦　真喜枝

４月から市民病院勤務となりました。地元の方の来院も多く、顔見知りの方もいらっしゃり、声をかけていただきありがたく思っております。初めての病院勤務であり、学ぶ事の多い毎日を過ごしています。患者様、スタッフの皆様の手となり足となり、よりよい病院生活がおくれますよう勤務させていただきたいと思っています。
よろしくお願いいたします。

「市立病院あり方検討委員会答申」と「公立病院改革ガイドライン」を受けて

「平戸市立病院改革プラン」を策定!

平成17年10月の合併により、平戸市の二つの市立病院（国民健康保険平戸市民病院・市立生月病院）は会計を一元化し経営を行っていますが、慢性的な赤字の状況が続いており、経営の健全化が求められています。

このようなことから、経営状況の改善を図り、地域における医療の安定的かつ継続的な提供を図るために、「平戸市立病院改革プラン」を策定しましたので、その概要についてお知らせします。

病院改革プラン策定の目的と計画期間

平戸市民病院及び生月病院は、いずれも主な診療圏域である平戸島の中・南部地域及び生月町における病床施設を持つ唯一の医療機関として重要な役割を担っています。

しかしながら、近年の医療制度改革や診療報酬の減額改定、また、医療圏域人口の減少に伴う外来患者数の減少等により、両病院を取巻く環境は大変厳しく、平戸市民病院では平成15年度から、また、生月病院においても平成16年度から純損失（赤字）を計上しており、経営の健全化が急務となっていました。

今回策定した「病院改革プラン」は、平成19年度に国が示したガイドラインを受け、経営効率化を図る数値目標の設定と、目標達成のための具体的な取組みと併せ、一般会計が負担すべき経費の範囲について明確化し、早期に病院の収支改善を図り、市立病院の経営健全化を実現するための基本的事項について定めたもので、今後の病院事業の指針となるものです。

市立病院では、平成21年度から平成23年度までの3年間をこの改革プランの実施期間としていますが、早期の健全化を図るために実施可能な項目については、平成20年度から実施しています。

また、市立病院では平成19年度決算において不良債務が発生しており、計画期間中に不良債務の解消を図ることができない場合は、計画期間を不良債務解消まで延長することとしています。（不良債務＝資金不足が生じていることを示します。）

市立病院の果たすべき役割

平戸市は、長崎県二次医療圏のひとつ「長崎県北地域保健医療圏」に属していますが、両病院から直近の有床診療施設までの移動距離は約18㎞、三次救急病院までは約50㎞、救急搬送には約1時間以上を要しています。このため救急医療体制においては、一次・二次救急医療を担う病院として高次（三次）救急医療機関へ結びつける役割を果たしていかなければなりません。

このようなことから、地域包

「公立病院改革ガイドライン」とは

平成19年12月に総務省自治財政局長通知として策定されたもので、病院事業を設置する地方公共団体に対して改革プランを策定し、経営改革に取り組むよう要請しました。

ガイドラインの中で示されたスケジュールでは、平成20年度内に改革プランを策定し、病院事業経営の改革に総合的に取り組むものとし、改革に関する**３つの視点（①経営の効率化、②再編・ネットワーク化、③経営形態の見直し）**のうち、①に係る部分については３年程度、②及び③に係る部分については５年程度の期間を対象として策定することとしています。

同時に、総務省は改革プランを促進するために、交付税措置、公立病院特例債の創設、地方財政措置見直しなどの公立病院改革に対する支援措置を打ち出しています。

括ケア・医療を担う拠点病院として、医師の確保に努めるとともに、医師研修制度や長崎大学の「へき地病院再生支援・教育機構」と連携し、将来の地域医療を担う総合医の育成に努めていきます。

へき地病院再生支援・教育機構では、毎年夏合宿や離島・へき地ツアーなどを開催し研修医や医学生の育成に取り組んでいます。

経営健全化のための具体的な取り組み

▼経営の効率化

国が示したガイドラインでは、計画期間中に経常収支を黒字化しなければなりません。このため、職員給与のカット（5％）や事務の効率化による事務職員の削減、契約形態の見直し等による経費節減に努めていきます。また、収入の増加を図るため看護基準の変更や、人工透析やリハビリテーション業務を充実することにより赤字体質の改善に努めます。

しかしながら、これらの対策は医師の確保や医療技術者などの確保による部分も多く困難も予想されますが、職員が一丸となって目標の達成に努力して行きたいと考えています。

▼経営形態の見直し

公立病院の経営形態の見直しには次の四つの選択肢が示されています。

①地方公営企業法の全部適用
②地方独立行政法人化（公務員型・非公務員型）
③指定管理者制度
④民間譲渡

市立病院あり方検討委員会の答申では、この中から①による経営形態への変更が示されたところであり、今回、改革プランの策定に併せて、平成21年度から地方公営企業法の全部適用により病院事業の経営を行うこととしました。

この経営形態の変更により、病院事業管理者（特別職・任期4年）が設置され、病院の組織や予算案の作成、人事等のほとんどの権限が市長から管理者に移行されます。このため、今までと違い病院事業の経営責任が明確になります。

経営効率化の具体的な取り組み

■両病院共通事項
- 財務内容の分析の充実
- 医療職給与表の採用
- 市立病院間の医師連携の充実･強化
- 人件費の抑制
- 事務の効率化による職員数の削減
- 契約形態の見直しによる経費の節減
- 滞納整理対策の強化

■平戸市民病院
- 人工腎臓透析の充実
- 医師定数確保による医療体制の充実
- 看護基準の変更による収益増加
- 時間外手当の削減

■生月病院
- 栄養管理・指導の充実
- リハビリテーションの充実による収益の確保
- 人件費の抑制

新しい体制のスタートと計画の達成に向けて

経営の健全化を目標とした新たな病院の体制が4月からスタートしました。病院事業管理者の指揮の下、計画期間中の目標を達成するために、市民のみなさんに対し積極的な情報の公開を行っていくとともに、その実施状況については、毎年点検・評価を行い、有識者や地域住民等の参加を得て設置した評価委員会等に諮り、評価の客観性を確保しながら改革プランの検証を行っていきます。

また、改革プランを着実に実施するためには、病院に働く職員一人ひとりが意識を変えていかなければなりません。

このため、「職員の意識改革」や「市民との協働による地域社会への貢献」といった項目についても設定し、評価委員会等により、評価・検証をしていただくこととしています。

※改革プランの詳細については、市ホームページをご覧ください。

生月病院からのお知らせです

出前講座を聞いてみませんか？

生月病院では、みなさんの「健康で自分らしい毎日」をお手伝いするため、出前講座を行います。地区のサークルや、婦人会、事業所などはもちろん、どんな小さなグループにもお伺いしますので、出前講座を希望される方は、お気軽にご連絡ください。

医療制度やサービスなどに関する講座（５講座）

- 『介護保険制度を活かした在宅介護』
- 『生月病院で受診できる放射線検査』
- 『糖尿病の薬』
- 『特定健診の上手な受け方』
- 『放射線被爆とリスク』

身近な病（やまい）に関する講座（７講座）

- 『高血圧症について』
- 『糖尿病について』
- 『食中毒について』
- 『脂肪異常症について』
- 『骨粗しょう症について』
- 『インフルエンザについて』
- 『ノロウイルスについて』

生活習慣に関する講座（５講座）

- 『メタボリックシンドロームを予防する食生活』
- 『高血圧は万病のもと！　今日からできる減塩法』
- 『コレステロールが高めの方の食生活改善ポイント』
- 『「お薬手帳」を活用しよう』
- 『お薬の基本的な飲み方』

〇講座は１回30分～１時間程度です。
〇日程についてはできる限りご希望にお応えいたしますが、診療業務との兼ね合いがありますので、早めにご相談ください。
〇上記以外にも聞いてみたい話題がありましたら、相談に応じますのでお気軽にお尋ねください。　（お問合せ先　生月病院事務所　53-2155）

生月病院糖尿病教室

〇予約はいりませんが、参加予定人数を把握するため事前にご連絡ください。

6／ 9（火）　『糖尿病足病変／フットケアについて』
7／14（火）　『知っておきたい薬の知識／血糖降下薬について』
8／ 4（火）　『知っておきたい薬の知識／インスリン療法について』
9／ 8（火）　『低血糖と高血糖』
10／13（火）　『自己血糖測定について』

場所　生月病院カンファレンス室　**時間**　10：30～11：30
お問合せ先　生月病院事務所　☎53－2155

「経口摂取」への取り組み

「コミュニケーションが取れない患者の経口摂取への働きかけ」

生月病院　看護師　山西　由美

本来、口からものを食べるという事は人生の楽しみ、癒しを得る目的があり、生きる意欲を高めるだけでなく、様々な機能回復に役立つ事が分かっています。

今まで、コミュニケーションが取れず口を開けることができない患者さんは、口腔ケアを行うことが難しく、充分にできませんでした。

口腔内が不衛生な状態では、味覚が低下し、飲み込みの反射が起こりにくくなります。また、汚れた唾液を誤嚥すると肺炎をおこす危険性が高まるので、食後に口腔内をきれいにするだけでなく、食前にもチェックする事が大切です。

誤嚥による発熱などを一度経験すると、経口摂取に対して消極的になり、経口摂取をあきらめて胃瘻栄養法や点滴に頼ってしまいます。

しかし、専門医に指導を受けながら口腔ケアや摂食訓練を継続することで、口腔内が清潔になり、誤嚥することなく経口摂取できた時の喜びは本人も家族も非常に大きなものです。

食べることは、看護援助の基本の一つとして取り組む姿勢が大切であると感じています。これからも口腔ケア、摂食嚥下訓練を続けていきたいと思います。

「食に対する意欲へのアプローチ」

生月病院　看護師　廣田　聡美

私たちは、飲み込み動作の障害・食に対する意欲の減退から食欲不振（低栄養状態）になり、胃瘻栄養となった患者さんに対して経口摂取への援助を行いました。

口腔ケアやマッサージなどを行いながら、専門医による嚥下評価を受けて、経口摂取訓練を開始していきました。

患者さんは、食に対する意欲が欠けていましたが、摂食訓練を行うことで経口摂取がスムーズになりました。自分から「プリンを食べたい」と口にするようになり、食に対する意欲を引き出すことができました。経口摂取が増えることに伴い患者さんの離床時間も増え、日常生活動作も介助から半介助・見守りへと変化し、リハビリにも参加され、日常生活動作の拡大へつながったと考えられます。

その他、栄養サポートチーム（ＮＳＴ）が介入し適切な栄養管理を行うことで、栄養状態も改善されました。

これからも今回の研修（取り組み）を活かして、よりよい食生活に向けて援助していきたいと思います

ピカピカの車椅子が生月病院に届きました

3月31日に生月病院へ新品の車椅子2台が届きました。

贈り主は、生月町で活動されている「生月大巡（おめぐり）団体」の皆さんです。

「生月大巡団体」は明治45年に開山された団体で、今年で創設百周年を迎えます。

生月での巡拝活動以外にも、これまでに飲酒運転追放の石碑建立（上場）など、地元に根付いた活動を行われています。今回、百周年の記念として車椅子が生月病院へ寄贈されることになりました。

昭和20年に入会し、現在団体の代表を務める有村清涼さん（84歳）は、生月病院を訪れ、「生月大巡団体は、地元の皆さんにご協力いただいたおかげで活動を続けてこれました。何か皆さんのお役に立つもので、そのご恩をお返ししたいと思い、寄贈することにしました。」と、山下院長と寄贈に至った経緯などを話し、車椅子を手渡されました。

寄贈された車椅子は、ハンドル部分にもブレーキがついており、介助者がより安心して利用できるようになっています。

現在は、生月病院の正面玄関に設置され、毎日たくさんの利用者に役立てられています。本当にありがとうございました。

ありがとうございました。
大切に使わせていただきます。

団体代表の有村さん(写真左)と山下院長

平戸市民病院外来診療担当医師

（平成21年５月１日現在）
〔都合により変更する場合があります。〕

②内科	担当医師		月	火	水	木	金
	池　田	午前	診察	診察	(病棟)	診察	(病棟)
		午後	(病棟)	(病棟)	(病棟)	(病棟)	(病棟)
	賀　来	午前	(病棟)	診察	診察	診察	(病棟)
		午後	(病棟)	禁煙外来(要予約)	禁煙外来(要予約)	禁煙外来(要予約)	(病棟)
	飯　野	午前	診察	診察	(病棟)	新・急患	診察
		午後	(病棟)	(病棟)	(病棟)	新・急患	(病棟)
	戸　川	午前	新・急患	(病棟)	診察	診察	診察
		午後	新・急患	(病棟)	(病棟)	(病棟)	(病棟)
	中　桶	午前	診察	新・急患	内視鏡・包交	(病棟)	内視鏡・包交
		午後	(病棟)	新・急患	(病棟)	(病棟)	(病棟)
	武　岡	午前	(病棟)	(病棟)	新・急患	(病棟)	新・急患
		午後	(病棟)	(病棟)	新・急患	(病棟)	(病棟)
	山　下	午前					
		午後			大腸ファイバー		

⑤外科	担当医師		月	火	水	木	金
	押　渕	午前	診察	診察	内視鏡	診察	(病棟)
		午後	(病棟)	(病棟)	(病棟)	(病棟)	(病棟)
	堤	午前	内視鏡	内視鏡	診察	内視鏡	診察
		午後	手術又は検査	手術又は検査		手術又は検査	手術又は検査

③整形外科	担当医師		月	火	水	木	金
	小　林	午前	診察	(病棟)	(病棟)	診察	診察
		午後	(病棟)	(病棟)	(病棟)	(病棟)	(病棟)
	派遣医師	午前		診察労災病院	診察大島診療所長		
		午後			診察(包交)		

⑧眼科	担当医師		月	火	水	木	金
	派遣医師	午前	診察	診察			
		午後	(病棟及び外来)				

○泌尿器科　　月2回（第1．第3木曜日の午後）　　生月病院　中本医師

＊午前の受付は午前11時までにお願いします(午後の診察は午後2時からです)
＊急患はいつでも受付けます

【平戸市民病院】　電話　0950-28-1113

SUZUKI　小さな車、大きな未来。
スズキセニアカー
ET4D
免許不要　カンタン操作
消費税不要　時速２～６km
のってよかった
スズキセニアカー 免許不要
株式会社スズキ自販長崎
平戸口営業所　平戸市田平萩田免1439-2
☎0950-57-1152

SoftBank
ソフトバンク佐々
（マックスバリュ佐々店前）
北松浦郡佐々町本田原免107-1
TEL 0120-41-1597
営業時間：AM10:00～PM7:00（年中無休）

生月病院外来診療医担当表

(平成21年５月１日現在)

診療科		月	火	水	木	金
内科	Ⅰ	山下(新)	山　下	山　下	山　下	山　下
	Ⅱ	田　中	田中(新)	田　中	田中(新)	田　中
	Ⅲ	小　村	小　村	小村(新)	小　村	小村(新)
外科		宇　田	中　本	宇　田	中　本	宇　田
検査		各担当医				
午後外来担当		小　村	田　中	宇　田	田　中	小　村

[その他特診等]

診療科	診療日(曜日)及び担当医師等	
泌尿器科	最終水曜日	・青洲会病院　山崎院長
	第１・３週木曜日	・生月病院　中本医師
血液内科	毎月第２週目の火曜日	・平戸市民病院　池田医療監
循環器科	毎月第２週目の木曜日	・平戸市民病院　賀来副院長
	偶数月の第４金曜日	・伊万里市民病院　松永医師
眼科	３ヶ月に１回（日曜日）	・前田眼科(福岡)　前田院長

―― 健康は、食生活から ――

平戸椎茸

ひらどロマン

平戸市森林組合
〒859-5366
長崎県平戸市宝亀町91-1
TEL 0950-28-0151 FAX 0950-28-1080
椎茸生産部 TEL 0950-28-0300 FAX 0950-28-0200